

ADHD 不注意傾向幼児への保育者の対応困難感

水野裕子 (筑波大学大学院)

キーワード: ADHD, 不注意傾向, 対応困難感

目 的

発達障害傾向のある子どもの多くには児童期以降に抑うつ・不安などの二次障害が生じる。そのため、幼児期のうちからそれらの子どもへの適切な対応が求められ、これまでに保育者を対象とした研修が企画されてきた (竹澤ら, 2014 など)。しかし、これまでの研修の多くは発達障害を全般的に扱ったものであり ADHD 不注意傾向については見過ごされることが多かった。そこで、本研究では ADHD 不注意傾向幼児への保育に関する研修プログラムを作成するための資料として、ADHD 不注意傾向幼児の特徴的な行動への保育者の対応困難感について明らかにすることを目的とした。

方 法

調査対象者・調査手続き: I 県の保育所, 幼稚園, 認定こども園に勤務する保育者 132 名に任意による無記名の自記式質問紙を郵送し, 111 名から質問紙を回収した (回収率 84.1%)。回答に不備のある者を除き, 108 名の回答を分析した。調査時期

は 2016 年 5 月～11 月であった。

質問項目: ADHD 不注意傾向の幼児に特徴的にみられる 15 種類の行動 (Table1) への対応経験の有無および, 対応困難感について回答を求めた。なお, 対応困難感「非常に困る」から「全く困らない」までの 5 段階のリッカート尺度で尋ねた。

結果と考察

調査対象者を「若手 (経験年数 5 年以下, n=23)」、 「中堅 (経験年数 6 年以上 15 年以下, n=51)」、 「ベテラン (経験年数 16 年以上, n=34)」の 3 群に分けた。経験年数による 3 群を独立変数, 対応困難感を従属変数とした一要因分散分析を実施した。なお, 各項目への対応経験のある者のみ分析対象とした。分散分析の結果, 群間に有意差はみられなかった。このことから, 保育経験を問わず保育者は対応のしづらさを感じていることが示された。つまり, ADHD 不注意傾向幼児への適切な対応は経験年数に応じて習得されるものではないと言える。

Table1 対応困難感の分散分析の結果

		若手		中堅		ベテラン		主効果 F値
		M	SD	M	SD	M	SD	
毎日の決まった活動に取り組めないことがある	(n=80)	4.00	0.65	4.00	0.82	3.76	0.97	F(2, 77)=0.70
気が散って集中できない	(n=95)	4.00	0.69	3.90	0.75	3.72	0.92	F(2, 92)=0.75
机やドアなどの物によくぶつかる	(n=36)	3.83	0.98	3.75	1.02	4.00	0.67	F(2, 33)=0.24
他のことが気になって作業が進まない	(n=90)	3.70	0.59	3.75	0.89	3.56	0.96	F(2, 87)=0.40
ぼんやりして準備をするのに時間がかかる	(n=98)	3.68	0.67	3.63	0.41	3.48	0.89	F(2, 95)=0.42
自分のものかどうかを確認せずに物を使用したり、持ってきたりする	(n=70)	3.62	1.12	3.91	0.75	3.83	0.94	F(2, 67)=0.52
家に持ち帰るものをよく圖に忘れる	(n=75)	3.55	0.82	3.51	1.05	3.60	1.00	F(2, 72)=0.06
一つの活動や遊びを集中して続けられない	(n=95)	3.53	1.12	3.40	0.82	3.63	0.96	F(2, 92)=0.62
集中して他の人の話を最後まで聞けない	(n=100)	3.50	1.00	3.73	0.88	3.84	0.90	F(2, 97)=0.85
作業や遊びの最中に声をかけても呼ばれていることに気づかない	(n=81)	3.43	0.85	3.51	0.91	3.63	0.97	F(2, 78)=0.22
製作などの手順を覚えてもらえない	(n=91)	3.38	0.77	3.45	1.00	3.58	0.89	F(2, 88)=0.28
探し物をよくしている	(n=57)	3.25	0.89	3.30	1.07	3.56	0.81	F(2, 54)=0.44
目の焦点が合っていないときがある	(n=86)	3.19	0.83	3.61	0.97	3.27	0.87	F(2, 83)=1.84
作業の途中でぼんやりしている	(n=90)	3.00	0.88	3.14	0.83	3.25	0.80	F(2, 87)=0.51
いくつか指示をすると聞き返してくる	(n=78)	2.85	1.07	3.28	1.04	3.40	0.82	F(2, 75)=1.42